



子どもの森の健康診断 in 樫川小中学校



R4年 8月19日

樫川小中学校5名、職員2名、地域ボランティア3名

一般社団法人塩尻市森林公社



1.学び



樫川小中学校(5名)の皆さんと 「子どもの森の健康診断」を実施しました。



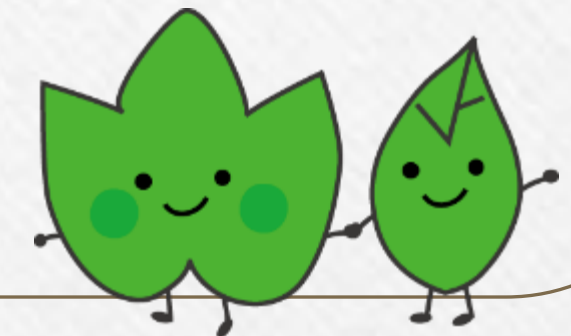
晴天に恵まれ、木の葉が揺れ、木の香りが漂う中始まった「森の健康診断」。
まずは森の勉強です。公杜職員から、木の種類や森のはたらき、森林整備の必要性などについて、紙芝居や写真を使って学習します。



2、調査

調査開始。

まずは、目を閉じ、耳を澄まして、五感で森を感じます。鳥のさえずりや草木の香り、地面の感触や明るさなど、それぞれに感じたことを発表し合います。



釣り竿などを使って木の混み具合を調べます。また、木の胸高直径を巻尺を使って調べます。測い終えたら「早見表」を使って混み具合の診断です。

3、体験

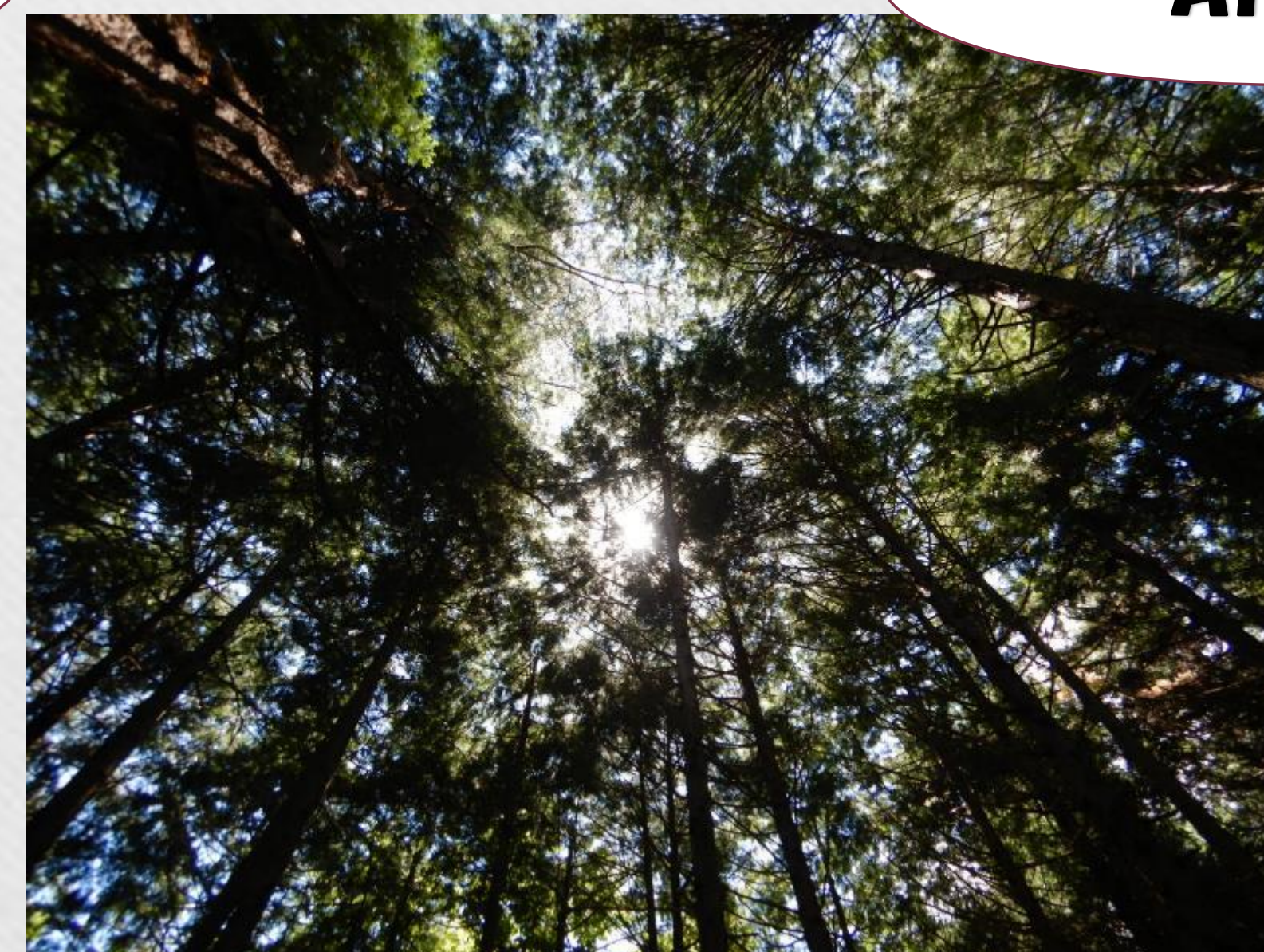
さあ、いよいよノコギリを使って木を伐倒します。
木を伐るにはまず、「受け口」と「追い口」を作ります。ふだ
ん使ったことのないノコギリに苦戦しながら、一生懸命伐い
ます。後はみんなで力を合わせ、ロープを引っ張り倒します。

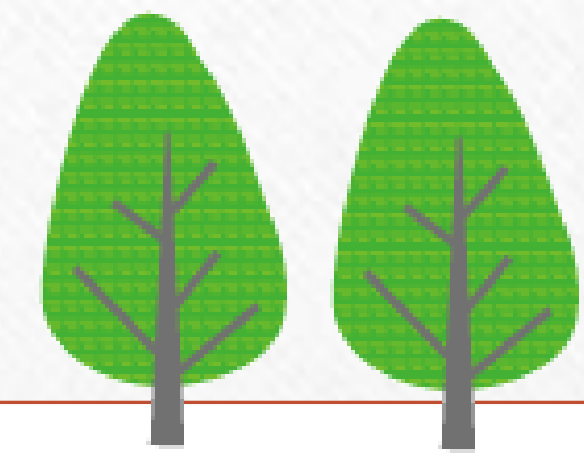
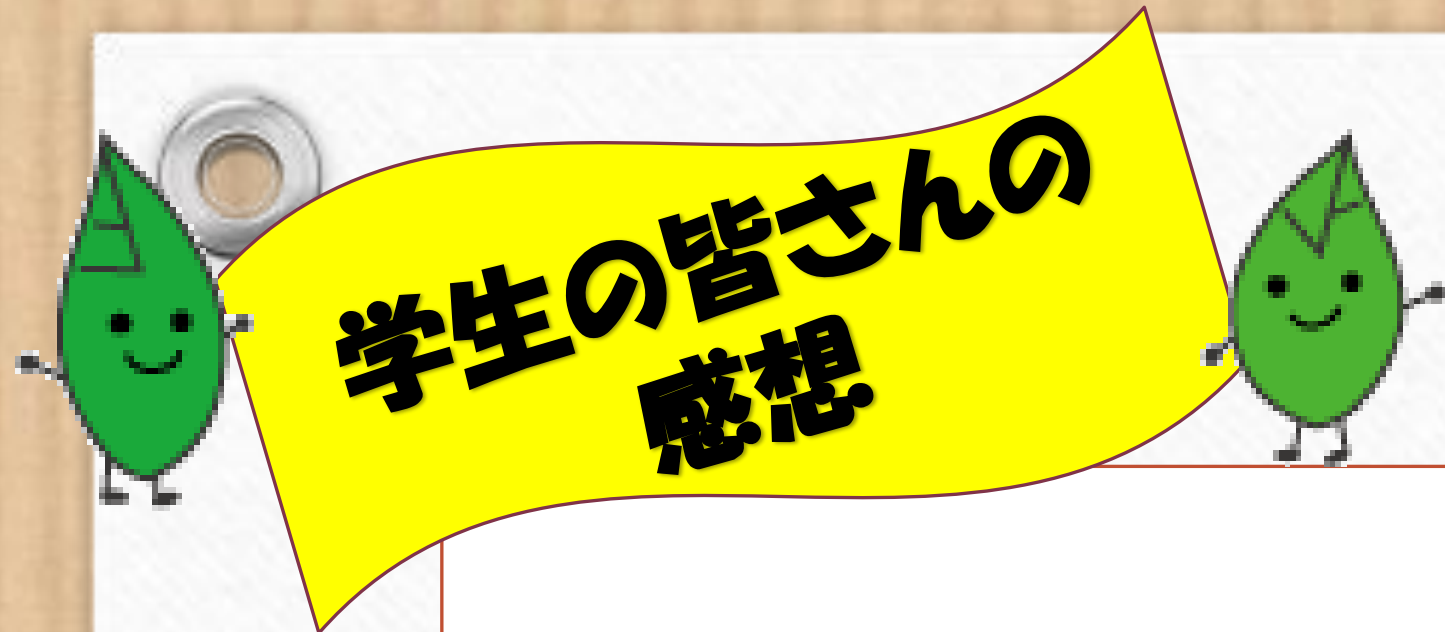


Before

After

間伐したことで、空が開
きます。間伐はとても大
事な作業。これで、日光
も当たり、草木が生えて
ることで森が健康になリ
ます。

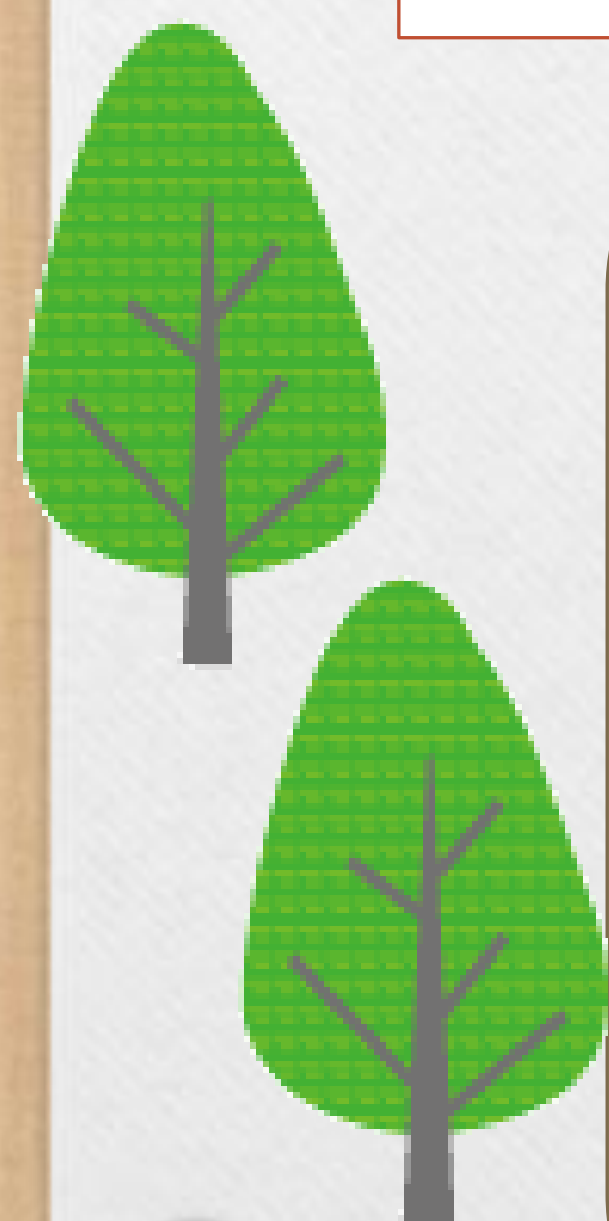




**口木を伐るのが楽しそうに参加した。
伐るのは難しかったけど、楽しかった。**

口木を伐るのは初めてで少し緊張したけど、楽しかった。

**口実際に木を伐ってみたかったから参加した。
最後の一発で倒したのが嬉しかった。**



森の健康診断を通して、幅広い世代が、山を身近に感じ、山の素晴らしさを知り、山に囲まれているこの塩尻をさらに好きになってもらえたら嬉しいです。言葉で山の魅力を伝えることには、限界があります。山に入り、肌で感じ、体験することで、より深く山のことを学習できると感じています。そして、ここでの体験が記憶の中にとどまり、将来へと引き継がれていくことを願っています。

「山を守り、育て、共に生きる」

私たち塩尻市森林公社は、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。

